

本校では、「人権尊重を基盤とし、創造性豊かで積極的に行動する子どもの育成」という教育目標のもと、教科学習だけでなく、すべての教育活動の中で、人権への理解を深め、ともに響きあい高めあう集団づくりを行っています。特に「いじめ」に関しては、いじめ防止基本方針のもと、教職員自身が、児童生徒を一人ひとり多様な個性を持つかけがえのない存在として尊重し、児童の人格のすこやかな発達を支援するために取り組んでいます。そして、どんな小さいいじめも見逃さない体制づくりに努めています。保護者の皆様からの情報もとても重要です。小さなことでもお知らせいただくと嬉しいです。下記のスライドは、6年生が広島への修学旅行のあとの授業で使用したものの抜粋です。

【学習後の児童の感想より】

- ・ ぼくは、いじめた方にもいじめられた方にもなったことがある。いじめてる時は楽しかった。けれどいじめられた時は悲しかった。いじめたことを後悔している。
- ・ ついつい人の欠けた（できない、苦手な）ところを探してしまうが、それも個性だ。人の良い所を見つけられる人になりたい。
- ・ 仲裁者になることで、1つの命を救うことができるかもしれない。そう思うと、人間はすばらしくもあるし、いやなものでもあると思った。
- ・ 自分や相手を認めて自分の事を大切に思うことで、差別やいじめが少しは無くなると思う。

平和

～差別といじめ～

LGBTとは

Lesbian (レズビアン、女性同性愛者)
Gay (ゲイ、男性同性愛者)
Bisexual (バイセクシュアル、両性愛者)
Transgender (トランスジェンダー、性別越境者)
の頭文字をとった単語
セクシュアル・マイノリティ (性的少数者) の
総称のひとつ



いじめによって、
被害者も加害者も
「自分で自分のことを大切に思う」という人間が
生きていく上で基本の心の
動きが傷ついてしまう

差別とは

本人の努力によってどうすることも出来ない事柄で
不利益な扱いをすること

いじめとは

当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。

観衆

周りが同調したり、はやし立てたりすることで
よけいにつらい思いをする

他人をいじめたり差別し続けたりすると

へんけん
偏見 (十分な根拠なしにもたれる、かたよった判断、意見など) によって起こることがある

人を死に おいこむこともある

傍観者

見ている人たちが助け
くれないことで
よけいにつらい思いをする

いじめや差別に依存した自分では何も解決できない、やりたいこともできない人生を送ることになる

※精神科医・臨床心理士 香山 リカ

いろいろな差別

- ・ 肌の色
- ・ 脳みそ
- ・ 出身
- ・ 国籍
- ・ 性別

人の心を とてつもなく 傷つけるもの

仲裁者

直接的・間接的に
いじめを止めることで
被害者を救える

平和とは

みんなが仲良く
思いやりを持って接する
※豊中市原爆被害者の会 伊達 昭夫
違いを認め合い、
思いやりを持って過ごし、平和な世界へ！
みんなの！歩が世界を変える！